

令和8年度

静岡県水産事業概要説明会

【水産物の販路拡大(やさかな企画)】



やさかなメニュー選定会



産業フェアしずおかへの出展



やさかなメニュー



【ノギリガザミの養殖研究の推進】



抱卵親ガニ



種苗生産風景



ゾエア幼生



メガロパ幼生



稚ガニ

令和8年4月

静岡県経済産業部水産・海洋局

～ 目 次 ～

- 1 令和 8 年度の水産施策の重点事項
- 2 個別事業の概要
 - (1) 水産振興課関係
 - (2) 水産資源課関係
 - (3) 漁港整備課関係
 - (4) 水産・海洋技術研究所関係
- 3 参考データ

1 令和8年度の水産施策の重点事項

県総合計画しずおかウェルビーイングプラン【R7~10】

- 1 産業 (水産の該当箇所を抜粋) R8.2月公表
- 1 イノベーションの創出と次世代産業の振興
 - 4 農林水産業の競争力強化と人材の確保・育成
 - (3) **持続可能な水産業の推進**
 - (4) 戦略的なマーケティングの推進
- 2 環境・エネルギー
- 1 脱炭素社会の構築 (3) 吸収源対策の推進

水産振興条例【H31.3】

- ・資源の適切な管理・持続的利用の確保 ・全漁業種類の共存共栄
- ・水産関連産業がともに発展 ・漁村地域の多様な価値の発揮

水産振興基本計画【R7-10】

R8.3月公表

- ①水産業の生産性向上
- ②水産資源の管理
- ③浜の未来づくりの推進と人材の育成

R8年度 重点施策	内容
1.水産業の未来づくり推進	プラットフォームの活用、漁獲物の価値の最大化や経営効率化の取組を支援
2.新水産業モデル構築促進	民間主導で海や漁港周辺の地域資源を活用し、地域の経済循環モデルを創出
3.海業の推進、イノベーション創出	漁業者・漁協主体の「海業」の全県展開、水産業者等の所得向上の取組を支援
4.浜名湖におけるアサリ資源回復	生活史にあわせた総合的な対策(親貝、産卵、稚貝育成、食害防除)
5.栽培漁業の推進	温水利用研究センター沼津分場の再整備、第9次栽培漁業基本計画の策定

2 個別事業の概要

(1) 水産振興課関係

～ 水産振興課関係 項目一覧1 ～



県内産業の競争力強化促進事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.8
(民間の力を取り入れた新水産業モデルの構築)

「海業」推進事業費助成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.10-16
(海業の定義、静岡県海業推進本部、海業スタートアップ事業、イノベーション創出事業)



水産業の未来づくり推進事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.17-18
(検討会、県民への情報発信、水産物流通の課題抽出・分析調査、スタートアップとのマッチング支援)

水産物認知度向上事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.19
(漁協食堂の集客支援)

魚食普及水産事業費助成、さかなのくにしずおか啓発支援事業費・・・・・・・・ p.20
(やさかなプロジェクト、釣り教室、水産業パンフレット)

浜の活力再生プラン・広域浜プランの取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・ p.21
(水産業を核として漁村の活力を再生するプランづくりを支援)

漁業経営活性化プラン実施計画策定事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ p.22
(浜プラン等の計画)

水産業共同施設整備費助成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.23
(漁協等が行う共同施設の整備を県が支援)

～ 水産振興課関係 項目一覧2 ～

沿岸漁業漁村振興構造改善事業費助成	p.24
(水産業を核として漁村の活力を再生するプランづくりを支援)	
水産業振興資金利子補給金 沿岸漁業改善資金貸付金	p.25
(装備の近代化等に必要な資金を利子補給により低利で融資、経営改善等の資金を県が無利子で融資)	
資源管理・漁業経営安定事業費助成	p.26
(漁業共済の掛金の一部を助成)	
県立漁業高等学園における人材育成の強化	p.27
(全寮制1年間で優良な漁業後継者を育成)	
水産物流通加工指導事業費	p.28
(HACCPの制度化と営業許可制度の見直しの支援)	
水産物流通適正化制度	p.29
(違法漁獲物の流通を防止する新たな仕組み)	

the point

- 水揚げ依存型の漁業・漁協経営から将来につながる新水産業への転換を図る
- 漁港等の敷地・施設利用の規制が緩和
新たに活用可能な「チャレンジフィールド」と位置づけ、県内外の先進企業の手を取り入れ、漁港の地域資源を活用したコンテンツを創出

チャレンジフィールド

地域資源を活用した
新しい取組を
開始する港



取組主体

先進企業※ +
地域ステークホルダー

- ※発信力が高い
- ・スタートアップと連携
- ・漁村で実績
- ・ノウハウや知見に強み

例)



ビジネスモデル

地域経済連関モデル

漁港の地域資源を活用したコンテンツの連携



the point

- 地域資産の調査・整理・PR
 - ・県内漁港の遊休施設や活用可能な土地/水域の一覧、利用制限等を整理
 - ・民間企業が参入しやすい環境を整備、参入に関心を有する企業等へ積極的にPR
- 地域経済関連モデルの創出
 - ・先進企業中心に、漁協や市町等の地域関係者が一体となって地域資源の活用モデルを創出
 - ・県内3地域（東中西）で実施予定
- 新水産業を担う人材確保・育成
 - ・将来に地域で自走を目指すため、地域の担い手が営業資格やノウハウ等を習得
 - ・市町施策と連携し、移住者の就業を促進、漁村での副業や短期バイトのマッチング等を活用

環境整備

①地域資産情報の調査・整理・発信

地域の眠れる資源
(遊休施設や土地・水域)
を発掘し、利活用を推進



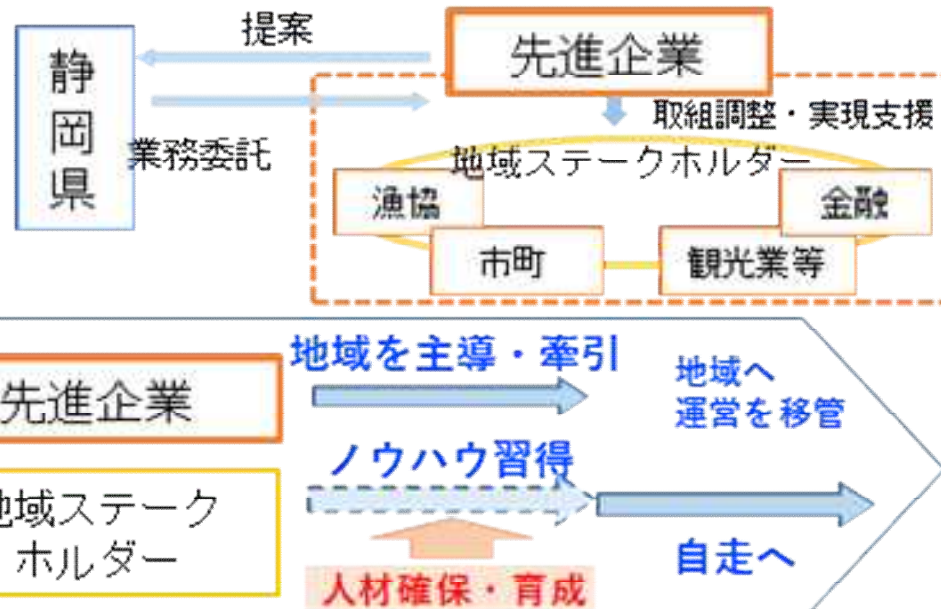
事業展開の後押し

②地域経済関連モデルの創出

プロポーサル方式により
先進企業から提案

③新水産業を担う人材の確保・育成

先進企業が主導、将来は
地域ステークホルダーが自走

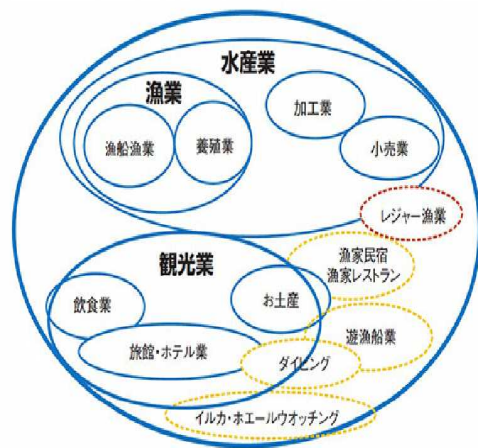


the point

- 法改正（令和6年4月施行）により漁港内の施設設置に係る規制緩和等がなされ、国では海業振興に向けた動きが加速化
- 多様な漁村を有し首都圏等から交流人口が見込まれる**本県は海業の適地**であり、異業種との連携等を通して水産業者等が**新たな所得を得る好機が到来** ⇒ 「海業」の振興が有効

【海業とは】

漁村の人々が、海や漁村に関する地域資源の価値や魅力を活用して所得機会の増大等を図る取組



取組イメージ

漁港に以下のような施設を設置・運営することで、**所得UP・販路拡大!**



直売所



漁業体験



水産食堂

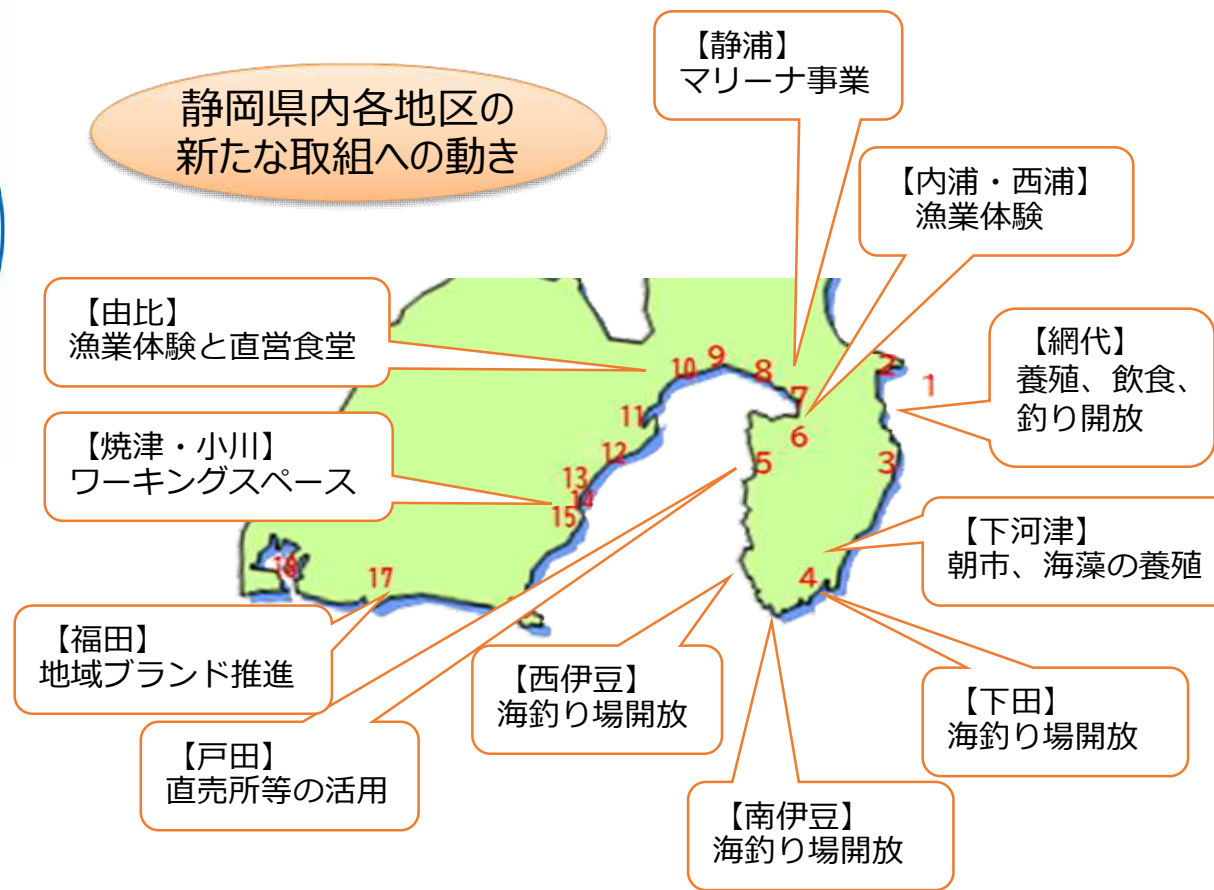


宿泊施設

【新たな権利・地位】

- ・漁港施設の貸付 (最大10年→30年)
- ・漁港水面施設運営権 (新設: 最大10年)
- ・水面等の長期占用 (最大10年→30年)

静岡県内各地区の
新たな取組への動き

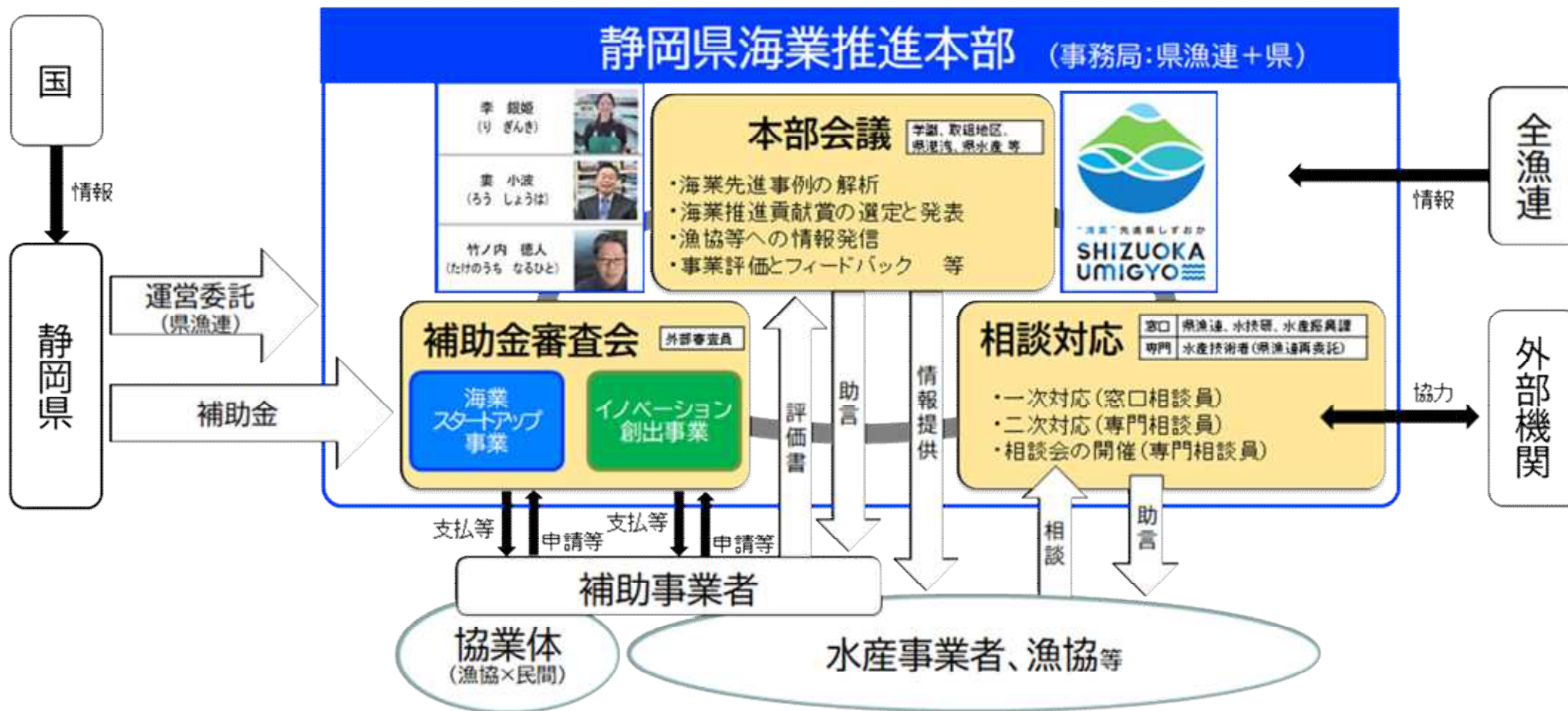


the point

- 専門家等で組織した本県海業の全面バックアップ
- 漁協の経営改善に資する海業の取組に向けた支援
- 水産業者等の意識醸成と経営改善に資するチャレンジ支援

(静岡県海業推進本部の設置運営)
(海業スタートアップ事業を通じた支援)
(イノベーション創出事業を通じた支援)

【目標】
関連所得
10%向上



the point

- 先進事例解析や情報発信、専門家等と協力した相談対応等の実施

会議

・本部会議 (年3回)

会長

李 銀姫
(り ぎんき)



妻 小波
(ろう しょうは)



竹ノ内 徳人
(たけのうち なるひと)



本部委員

- 情報発信
- 関係者の意識醸成
- 漁協と事業者のマッチング支援
- 異業種連携へのテコ入れ



本部会議

専門相談員派遣

- ・専門家を派遣 (12回) ○ 地区の取組を個別にブラッシュアップ

前年度の取組



意見交換(海業セミナー等)

ブルーカーボン江の島共同体



取組視察(神奈川県江の島、小田原)



情報発信 (シンポジウム、万博分科会)

the point

- 民間事業者が持つノウハウを活用して、海業に挑戦する沿海漁業協同組合を支援 (ハードもソフトも対象)

補助対象者

静岡県内の沿海漁業協同組合 (支所以上)

- ・ 書面にて民間事業者との間に海業の取組に係る**連携協定を締結**していること
- ※ 民間事業者への単なる委託契約は不可 漁協が主体的に海業に取り組む姿勢が重要!

補助対象事業

海や漁村に関する地域資源の魅力等を活用し所得の増大等を図る取組

- ・ 取組 5 年後の所得が10%以上増加することを目標とした計画の策定
- ・ 対象経費の費目は、資材等費・機械装置等費・旅費・外注費など多種多様
- ・ **海業取組促進事業(水産庁)が対象とする内容は除く、イノベーション創出事業との併用は不可**

補助率(額)等

海業スタートアップ事業に要した費用の2 / 3 以内

- ・ 補助上限500万円～下限100万円 (消費税は対象外)
- ・ 収益が発生した場合、その一部を県に納付させることがあります
- ・ 補助金の概算払制度あり。最終的な精算は、翌年度 5 月頃の予定

(参考) 水産庁「海業取組促進事業」 令和7年度補正、令和8年度当初)

the point

- 地域における海業の取組の促進に係る調査等を支援
- 本国庫事業で実施可能な取組は、県海業スタートアップ事業費補助金では対象外

事業概要

事業実施主体	県、市町、漁協等
補助率	定額10/10（上限500万円）
対象経費	ソフト事業のみ

<事業の流れ>

定額(上限500万円)



要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「基本方針」に整合する漁港施設等活用事業に係る計画策定が見込まれること（漁港区域外は相当する計画策定）。 ・ 水産物の消費増進によって、漁業者等の所得向上が見込まれること。 ・ 当該事業の実施に当たり、漁港管理者等との調整が行われていること。
対象外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の個人若しくは法人の資産形成又は販売促進につながる取組 ・ PR活動（ポスター・リーフレット等の作成、新聞・インターネット等、マスメディアによる宣伝・広告、展示会等の開催） ・ 複数の漁港を跨ぐ案件、漁港で複数の案件。

the point

- 資源状況の悪化等、水産業が困難な状況の中、**事業者自身が考える所得向上に向けた新たな取組を支援**
- 申請書の簡略化、申請書類の削減、書き方説明会や相談会の開催等を通して**申請作業を支援**

補助対象者

水産業者等（漁業者や水産加工業者）

- ・ 静岡県内に住所又は事業所を有する者に限ります。
- ・ 補助対象となる事業について、収支の計算及び区分を分けた経理ができること

補助対象事業

水産業者等が行う異業種との連携等により所得を増やす新たな取組

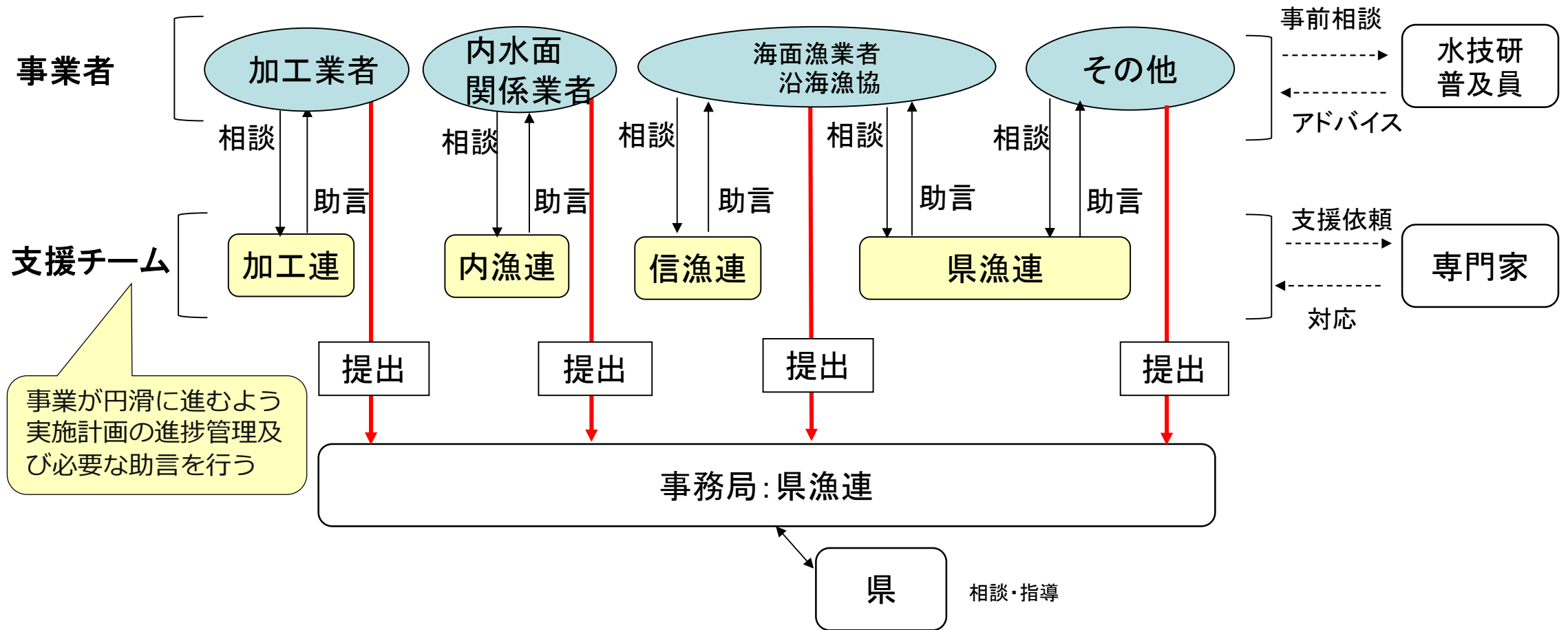
- ・ 取組5年後の所得が10%以上増加することを目標とした計画の策定
- ・ **海業スタートアップ事業との併用は不可**

補助率(額)等

イノベーション創出事業に要した費用の2/3以内

- ・ 1企業又は1個人の場合は50万円、1団体の場合は100万円（消費税は対象外）
→ただし異業種と連携する事業については団体に限らず100万円
- ・ 対象経費の費目は、資材等費・機械装置等費・旅費・外注費など
- ・ **収益が発生した場合、その一部を県に納付させることがあります**
- ・ 実施期間は補助金交付決定の日から令和9年1月31日まで

支援体制について



要点

- 海洋環境の変化が進み、従来の支援では対応できない事態が生じている
 - ➔ 「水産業の未来づくりプラットフォーム」において、課題抽出や経営分析をもとに**海洋環境の変化等に対応した新たな漁業経営や漁協経営の在り方を検討し、これらの結果や改善策を今後の施策に反映**

○ プラットフォームによる検討

構成員	所属（地域、分野等）	人数
学識者	東京海洋大学教授（海洋政策・協業化等の業績）	1名
	（一財）マリンオープンイノベーション機構	1名
業界代表	静岡県漁業協同組合連合会	2名
漁業者代表	しらす船曳網（中・西部）、沿岸一本釣（東・中部）	4名
加工・流通業	しらす加工（中部）、鮮魚流通・加工（東部）	2名



2そう船曳網漁船（南駿河湾） 日戻りキンメ漁船（伊豆）

○ 経営分析の実施

区分	漁業	漁協
対象	しらす船曳網、沿岸一本釣	伊豆、いとう、田子の浦、清水、南駿河湾、浜名
材料視点	財務状況（青色申告等） 操業形態、使用漁船、雇用	財務状況（業務報告書）、その他関連情報 組織体制、事業概要、6次産業化等



第1回検討会での議論

要点

- しらす船曳網、沿岸一本釣漁業や伊豆、いとう、田子の浦、清水、南駿河湾、浜名漁協を中心に経営状態の把握や課題を抽出

		類型 1 (短期・実現難易度低)	類型 2 (中長期・実現難易度低)	類型 3 (短期・実現難易度高)	類型 4 (中長期・実現難易度高)
漁業者	要因へのアプローチ	地域ブランド化の推進 食害被害アプリの利用拡大	他漁業との柔軟な兼業		シラスの漁獲量の短期予測
	影響へのアプローチ	就業セミナーの実施	定住支援制度の拡充		共同運搬船の導入
漁協	要因へのアプローチ	市場事務DX (電子計量・電子入札の導入)	新たな仲買人の誘致	集荷・出荷の一元化	市場機能の集約
	影響へのアプローチ	職員への人材育成の実施			都市部や異業種からの人材確保の推進

区分	①県民への情報発信	②水産物流通の課題抽出、分析調査	③スタートアップとのマッチング支援
目的	水産業の現状について県民への理解促進 ⇒魚食普及促進、担い手不足対策	地域そのものを含めたブランド化のための調査・方向性の検討	従来技術で対応困難な課題の解決
対象	一般県民、学生 (小中学生、水産高校等)	シラス、キンメダイ	シラス船曳網漁業者、一本釣漁業者
内容	・派遣する漁業士への研修会開催 ・漁業士による一般県民等への情報発信	・対象魚種の流通実態調査 ・物流構造の効率化に向けた提案 ・ブランド化に向けた提案	・地域漁業者の選定 ・スタートアップ企業の選定、マッチング ・伴走支援

the point

- 県産水産物の**認知度向上**を通じた消費拡大を図るためのPR活動や、販路拡大を支援
- 関連団体と組織した**静岡県産水産物等PR推進部会**による**統一的なPR事業**の実施

< 現状・課題 >

産地でも地場水産物の提供はわずか

地場流通の仕組みが十分に整っておらず、産地を核にした地場水産物のPRもうまくできていない。

各地に漁協直営食堂があるもののPRはバラバラ

各地に漁協直営食堂ができ、水産祭りも開催されるようになったが、PRがバラバラなため、県産水産物全体での需要拡大に課題がある。

漁協直営食堂は、新型コロナウイルス感染症が影響し、令和2年に集客者数が大きく落ち込んだものの、令和6年実績は約76万人と回復しつつあり、PRに力を入れることで今後より一層の利用が見込める。

< 令和8年度事業（予定） >

「静岡県産水産物等PR推進部会」により**統一的なPR事業**を実施

- ・漁協漁港食堂ポケットマップ等により食堂への誘客を企画



漁協漁港食堂ポケットマップ（R5作成）

- ・消費拡大、販売促進のため、直売所、食堂の情報を県公式ホームページ内「魚ッチングしずおか」で広報



the point

- 県産水産物の料理コンクール等を通して地域消費者等への魚食普及・啓発を推進。
- 県下全域の河川で開催される釣り教室を支援し、内水面漁場管理の重要性を啓発。

事業概要

項目	事業内容等	補助対象事業
魚食普及推進事業費助成 62万円(うち補助金59万円)	お魚体験学習を実施する静岡県 おさかな普及協議会※への助成 【補助率1/2】	・やさかなプロジェクト 民間企業(キューピー(株)等)と協力し、魚と野菜を合わせた「やさかなメニュー」を提案することで、魚と野菜を食べる習慣をつけ、健康的な食生活を送ることを目標とするプロジェクト
内水面漁業啓発事業 55万円(補助金)	小中学生等を対象とした釣り教室 等を実施する漁協への助成 【補助率1/3】	・釣り教室 (釣りの仕方・マナー講座) ・河川漁業教室 (水辺の生き物観察会等)
水産業啓発活動促進事業 8万円	静岡県の水産業に関するパンフレット等を作成し、県内小学校(教材用)、 漁業士等が実施する水産教室等で配布	



※静岡県おさかな普及協議会の概要

目的	魚介類が国民の食生活に欠くことのできないタンパク源で、世界的にも注目される健康食品であることや、魚のおいしさをPRし、消費拡大を図る。
会員団体	19団体(水産関係団体7、行政機関11、消費者団体1)
事務局	静岡県漁業協同組合連合会

浜の活力再生プラン・広域浜プランの取組状況

the point

- 水産業を核として漁村の活力を再生するためのプランづくりを支援。水産庁が主導し、全国で展開。
- 関連する支援事業の活用にはプラン策定が要件。5年の期間終了後は次期プランへ更新。

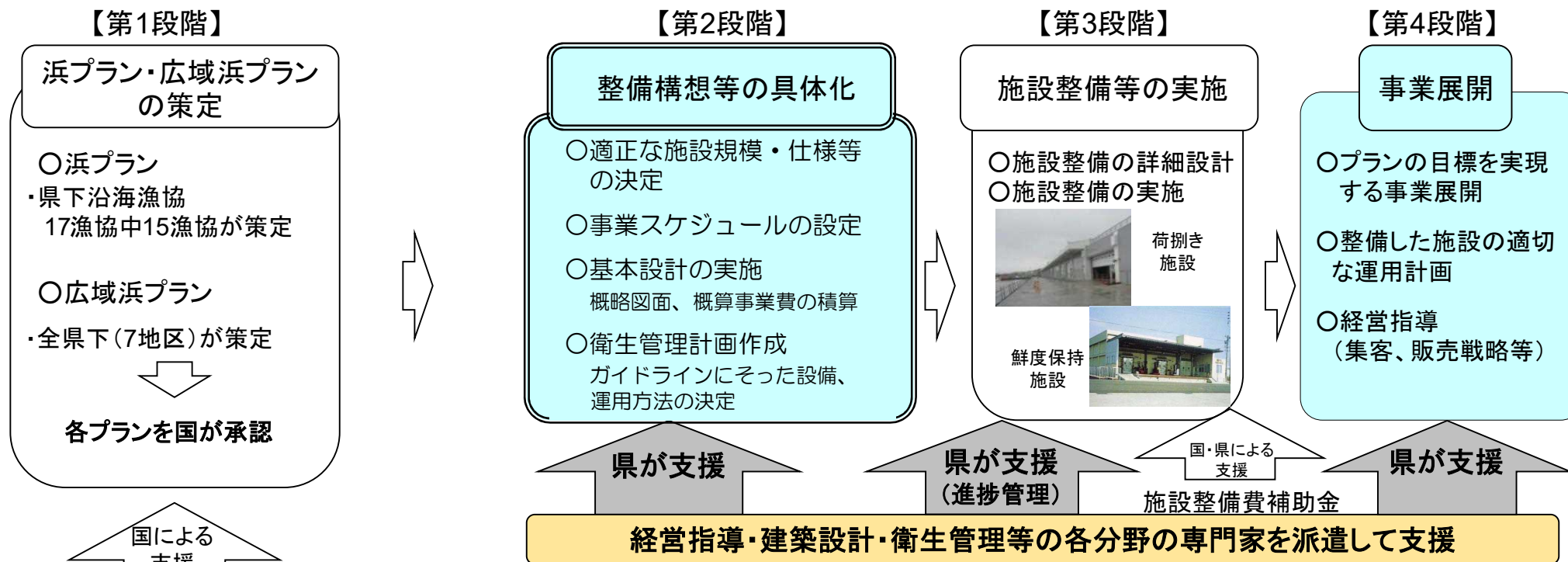
浜プラン(16漁協)			
漁協名	更新の状況(期間年度)		
いとう	第2期	R3-7	第3期プラン更新中
伊豆	東伊豆	第3期	R7-11
	下田	第2期	R3-7 第3期プラン更新中
	南伊豆	第2期	R3-7 第3期プラン更新中
	西伊豆	第3期	R7-11
戸田	第3期	R6-10	
静浦	第3期	R7-11	
内浦	第2期	R6-10	
沼津我入道	第2期	R7-11	
田子の浦	第3期	R6-10	
由比港	第2期	R4-8	
大井川港	第3期	R6-10	
清水	第2期	R3-7	第3期プラン更新中
焼津	第2期	R7-11	
小川	第3期	R6-10	
南駿河湾	第3期	R7-11	
遠州	第3期	R6-10	
浜名	第3期	R7-11	
浜名湖養魚	第3期	R7-11	

広域浜プラン(7地区)				(令和8年4月現在)
地区名	主な取組内容(期間年度)			
伊東・網代 (漁協:いとう・初島・大熱海)	第2期	R4-8	地域の拠点としての衛生管理型市場の整備と競争力強化	
伊豆	第2期	R3-7	蓄養事業の集約化による販売力強化、衛生管理型市場の整備 第3期プラン更新中	
沼津	第2期	R5-9	漁協連携による水産物の販売力強化	
由比・大井川・田子の浦	第2期	R4-8	しらす、さくらえびの資源管理と有効活用、低利用資源活用等	
清水・用宗・焼津・小川	第2期	R5-9	用宗漁港の流通機能高度化、魚市場再整備による競争力強化	
榛南 (漁協)南駿河湾・遠州	第2期	R3-7	市場統合による競争力強化、地元水産物のPR等による地域活性化 第3期プラン更新中	
浜名	第2期	R3-7	市場機能の向上、集荷体制・販売力の強化	
浜名湖(養鰻) (漁協)浜名湖養魚	新規策定作業中			

the point

- 浜プラン・広域浜プラン等の目標実現のため、これらのプランに掲げられた施設整備構想等について、構想の具体化の段階から事業展開までをトータルに支援。

【各プランの策定から、それに基づく事業実施までの流れ】



国による支援

浜プラン・広域浜プラン
策定支援事業

活用事例

令和7年度の支援内容(抜粋)

- ・ 沼津4漁協連携
4漁協の直売所の連携による販売力強化と連携取組の支援
- ・ 由比港漁業協同組合
商品のラインナップ等の見直し等による既存の直売施設や飲食店舗を活用した漁協所得の向上策への検討支援
- ・ 戸田漁業協同組合
漁協直売所を活用したイベントや地域活性化取組の支援

the point

- 漁協等が行う施設整備事業に県が助成する制度
(R8年度当初予算32,809千円 補助率 1/3 以内 ・補助金の上限7,000千円・事業費の下限3,000千円)

R7年度実績 (8件)

荷さばき施設 附帯設備

・電動フォークリフト

製氷・冷凍及び冷蔵施設
附帯設備 (2件)

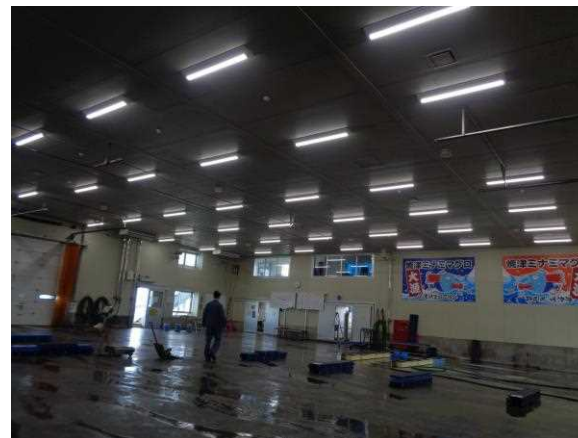
・冷蔵庫扉自動制御装置
・冷却塔

漁船修理場 (4件)

・上架施設

給水・給氷・給油及び給電施設

・加工場貯水槽



過去補助事例 (R7以前実績を含む)

沿岸漁業漁村振興構造改善事業費助成

予算額
国 2,3330万円

the point

- 漁港、市場等における機能の高度化、高度衛生管理体制の構築、付加価値向上等を支援。
- 補助率70%（国1/2、県1/5※）※助成先市町の財政力指数に応じた調整率15%の減額有り
- 令和6年度から令和8年度の3か年で南駿河湾漁協の御前崎製氷施設を整備。

<年次計画>

	R5	R6	R7	R8
南駿河湾漁協 御前崎製氷施設	← 基本設計 (事業主負担) →	← 実施設計 →	← 建築工事 →	← 解体工事 →



新製氷施設

<全体事業費（単位：千円）>

内訳	R6 (実施設計)	R7 (建築工事)	R8 (解体工事)	合計
国(1/2)	8,500	463,250	23,330	495,080
県(1/5×0.85)※	2,890	157,505	0	160,395
地元	5,610	305,745	23,330	334,685
合計	17,000	926,505	46,660	990,160

※助成先市町の財政力指数に応じた調整率

水産業振興資金利子補給金

予算額 1億7,024万円

沿岸漁業改善資金貸付金

予算額 2,480万円

the point

漁業者・水産加工業者などに対し、経営の近代化や改善などの資金を有利な条件で融資。

- 水産業振興資金利子補給金
設備の近代化や経営改善等に必要な資金を、利子補給により低利で融資。
- 沿岸漁業改善資金貸付金
経営改善や青年漁業者等養成確保等の資金を、県が無利子で融資。

○ 主な制度

制度名	資金利用例	金利	保証	限度額	償還期限 (据置期間)
漁業近代化資金	・漁船建造、購入、改造 ・加工用施設設置 ・養殖用種苗、餌購入 等	低利	原則として 保証料が 必要	1,800万円～ 12億円 事業費の8割まで	2～20年 (0～3年)
沿岸漁業改善資金	・省力化機器(魚探、レーダー等)設置 ・環境対応エンジン設置 ・青年漁業者等の漁業経営開始資金 等	無利子	1～2人 の保証人が 必要	10万円～ 2,500万円	2～10年 (0～3年)

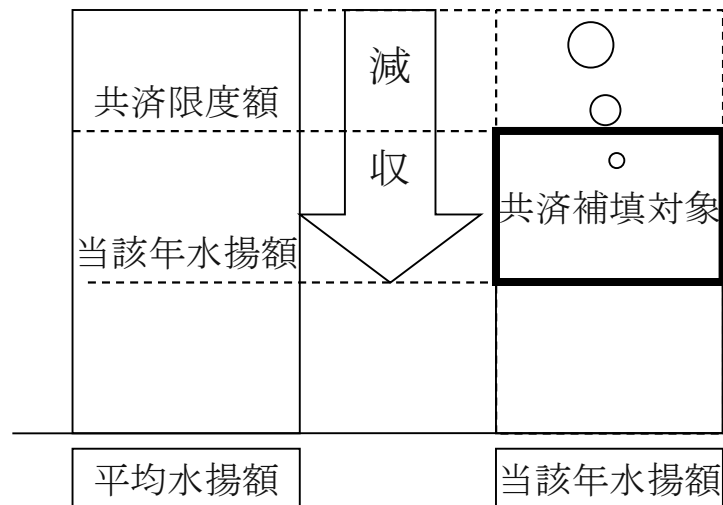
相談窓口：水産流通班 (054-221-2658)

the point

- 漁獲の持続的発展のための資源管理推進と、脆弱な漁業経営の安定化を支援するため、漁業共済の掛金の一部を助成。
- 平成29年度からは、助成要件となっている共済加入区内の特定漁業者の加入割合を、従来の全員加入に加え、半数以上の加入も対象とすることで、利便性を向上。

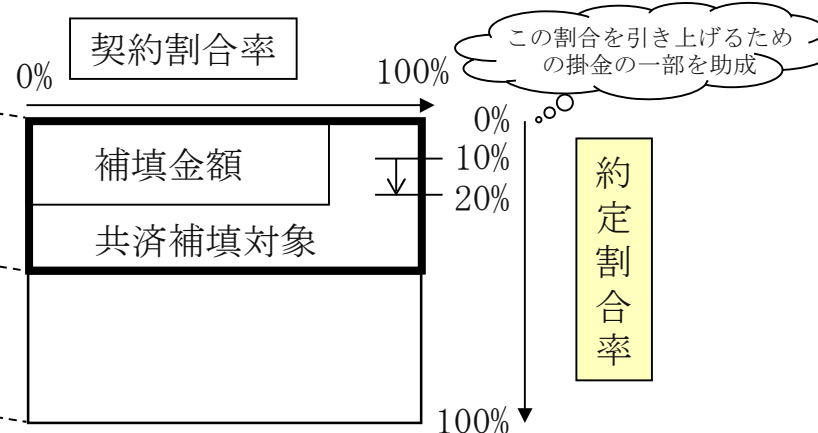
○ 助成内容

共済掛金の一部を助成
(約定割合10%と20%の
漁業者負担額差額
× 1/4)



○ 助成要件

- 以下の要件を全て満たす者
- ・ 資源管理計画を策定、履行
 - ・ 漁業共済に契約割合60%以上で加入
 - ・ 約定割合20%以上で加入
 - ・ 義務加入 (加入区内全員加入)
又は連合加入 (加入区域の半数以上の加入)



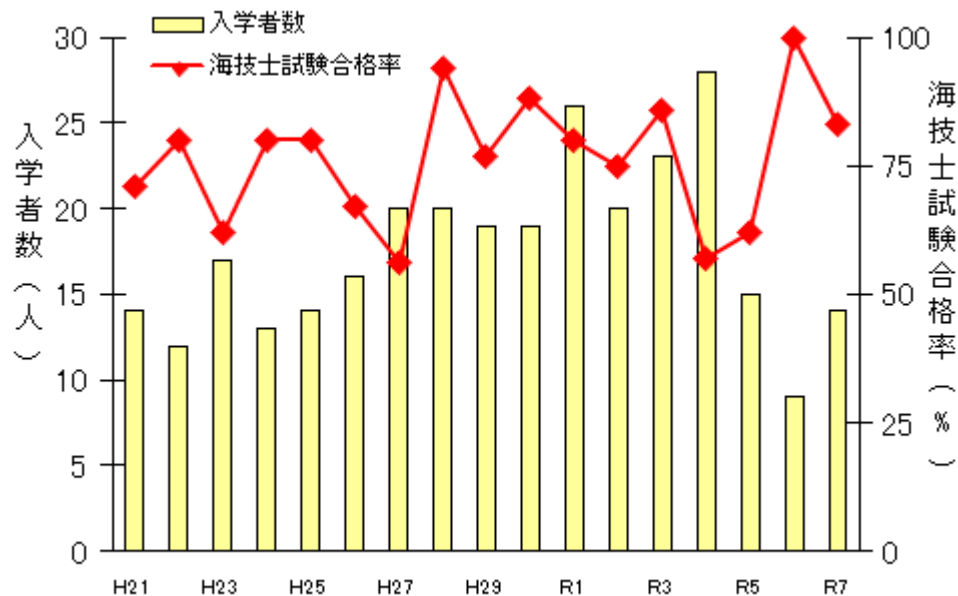
the point

- 漁業界への貢献 (1,045名の卒業生を漁業界へ輩出、**県内漁業への就業率100%**、**新規漁業就業者の約3割**)
- 入学生の積極的な確保 (高校訪問、DM発送、SNS等での動画配信、検索連動型広告などを活用した情報発信)
- 現場重視の教育の実践 (専門職員による実務指導、航海術等の座学、ロープワークや1か月間にわたる**遠洋航海実習**など)
- 就業定着率の向上 (溶接、海技士等の**必要な技能の取得支援**、**卒業後の生徒面談の継続**、**就業準備金の活用支援**)

漁業高等学園の概要

- ・昭和45年設立
- ・1年間の全寮制、定員30名（15～30歳）
- ・次代の幹部漁船員（船長、機関長）の養成

入学者数・海技士筆記試験合格者の状況



R7年度の取組状況



SNSや検索連動型広告を活用した生徒募集（周年）



オープンキャンパスの来場者が大型エンジンの操作を体験（8月）



遠洋航海実習期間中のカツオー一本釣り（11～12月）



アフリカの水産関係者と漁業の未来を考えるセミナーを共催（10月）

the point

- 食品衛生法等の一部を改正する法律により、**営業許可制度の見直し、HACCPに沿った衛生管理**の対応が必要
- 県内中小規模の水産加工業者に対して加工セミナーの開催や研修会を通じて支援を行うとともに、産地市場の衛生調査や研修会開催により、**水揚げから加工まで一貫した衛生管理の向上を図る**ことで、県産水産物の品質・価値向上を目指す

水産加工業界支援

- **対象** 県内水産加工業者、水産加工団体
- **内容** 水産加工技術セミナー、水産物の食品表示・衛生管理の研修会の開催



水産加工技術セミナー
(水技研にて開催)



食品表示・衛生管理の研修会
(県内5地区で開催)

産地市場支援

- **対象** 水産物を扱う卸売市場
- **内容** 市場の衛生管理高度化支援
(衛生調査、実証試験及び研修会等を実施)



現地衛生調査
内容：菌検査、魚体温度確認等



研修会開催
内容：座学、手指消毒実演等

水産物流通適正化制度

the point

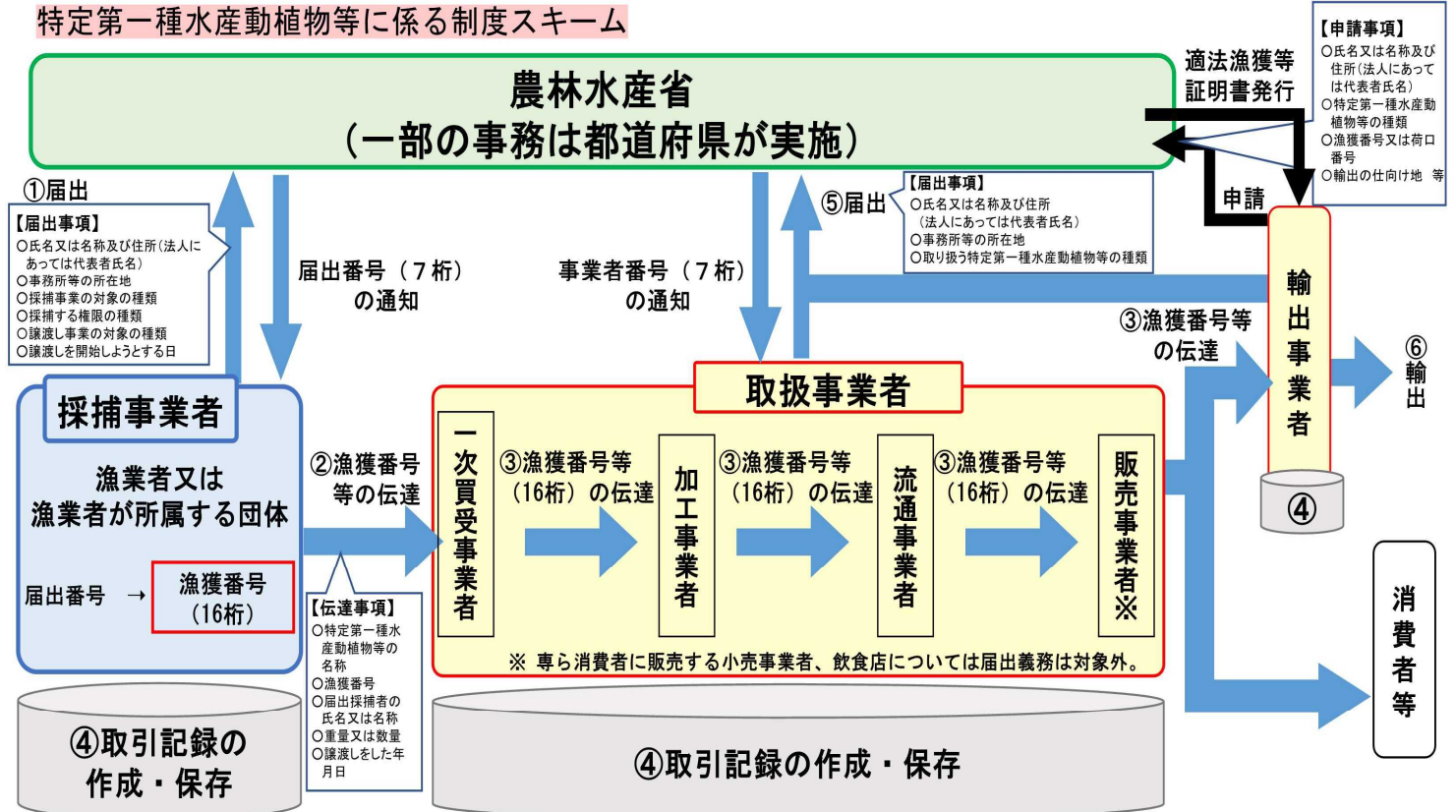
- 国内において違法かつ過剰な採捕が行われるおそれが大きい魚種について①漁業者等の届出 ②情報（漁獲番号等）の伝達 ③取引記録の作成・保存 ④輸出時の適法漁獲証明書の添付を義務付ける「**特定水産動植物等の流通の適正化等に関する法律**」が令和4年12月1日施行
- 対象魚種はアワビ、ナマコ、シラスウナギ、※クロマグロ（※令和8年4月から適用）
- 県では、県域事業者からの届出の受理及び県域事業者に対する監視等を実施

背景

- 国内流通において違法に漁獲された水産物の判別が困難。放置すれば、水産資源の持続的利用に悪影響を与え、適正な漁業者等の経営を圧迫
- 国際社会からIUU漁業撲滅の実行が求められ、適正な輸入を担保する必要

- 違法漁獲物の混入を防ぎ、万が一混入が確認された際には取引記録等を追跡調査し、流通適正化を図るとともに、輸入される水産動植物の適法性を証明する仕組みにより我が国への流入を防ぐ

特定第一種水産動植物等に係る制度スキーム



※ 届出義務、伝達義務、取引記録義務、輸出時の証明書添付義務等に違反した場合は罰則あり。

(2) 水産資源課関係

～ 水産資源課関係 項目一覧 ～

資源管理への対応（資源評価の充実や密漁対策の強化）	p.32
遊漁船業の適正化に関する法律（遊漁船業の安全性の向上等の対策強化）	p.33
漁場環境の変化への対応（水産資源の生育環境の調査）	p.34
浜名湖アサリ資源回復実証プロジェクト事業（浜名湖のアサリ資源の回復）	p.35
新規 沿岸漁場整備開発事業（浜名湖のアサリ漁場造成）	p.36
ウナギ資源回復（水産資源の生育環境の調査）	p.37
アユ食害対策（水産資源食害防止対策推進事業費）	p.38
キンメダイ食害対策（水産資源食害防止対策推進事業費）	p.39
伊豆の磯焼け緊急対策事業（伊豆半島・榛南海域の磯焼け対策）	p.40
温水利用研究センター関連（魚介類種苗生産施設関連事業）	p.41
漁場利用適正化指導事業費（密漁防止の普及啓発）	p.42

資源管理への対応

the point

- 改正漁業法施行に伴い、漁業生産に関する基本的な制度が一体的に見直し。
- 国は、資源評価の充実やTAC魚種の拡大など、新たな資源管理体制の構築を推進。
- 県は、県内の状況を踏まえ移行した、新たな管理体制による漁業者の取組を支援。

新たな資源管理体制の構築（国）

資源調査・評価の充実

- ・資源評価対象魚種の拡大
- ・資源評価の精度向上

新たな資源管理体制の構築

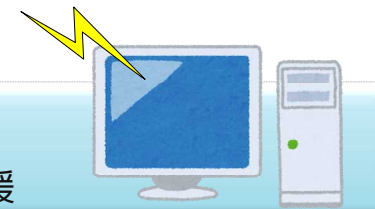
- ・TAC魚種拡大の検討（R12までの新たなロードマップの策定・公表、カタクチイワシ：R7.1～、ブリ：R7.4～TACステップアップ管理）
- ・漁業者による新たな制度での自主的管理

密漁のリスクの高い資源の管理強化

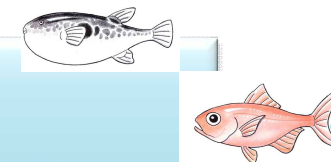
- ・密漁のリスクの高い水産資源の採捕、流通等に対する罰則強化（アワビ、ナマコ）
- ・シラスウナギ採捕の漁業許可化

県の対応

- ・収集する漁獲情報の拡大・精緻化
- ・漁協等の水揚情報の報告システムの支援



- ・漁業の実態や自主的な管理の状況を踏まえた調整（キンメダイ、トラフグ等）
- ・静岡県資源管理方針に基づく自主的管理制度による漁業者の取組支援（資源管理協定数：10）



- ・密漁に対する罰則強化に関する情報の周知
- ・知事許可漁業によるシラスウナギ採捕（R5.12～）
* 水産流通適正化法の対象（シラスウナギ：R7.12～、くろまぐろ：R8.4～）



遊漁船業の適正化に関する法律

the point

- 遊漁船業の適正化に関する法律の一部を改正する法律（令和5年6月2日公布、令和6年4月1日施行）。
- 遊漁船業の安全性の向上等を図るため、遊漁船業者について、登録・更新を厳格化するとともに、安全管理体制の強化。
- 遊漁船の利用者が安全性の観点から事業者の選択ができるよう、安全に関する情報発信を強化。

改正の概要

1 遊漁船業者の登録・更新制度の厳格化

欠格期間の延長（2年間→5年間）、欠格要件の追加

2 遊漁船業者の安全管理体制の強化

新たな業務規程の作成、損害賠償措置の引上げ（3,000万円→5,000万円）

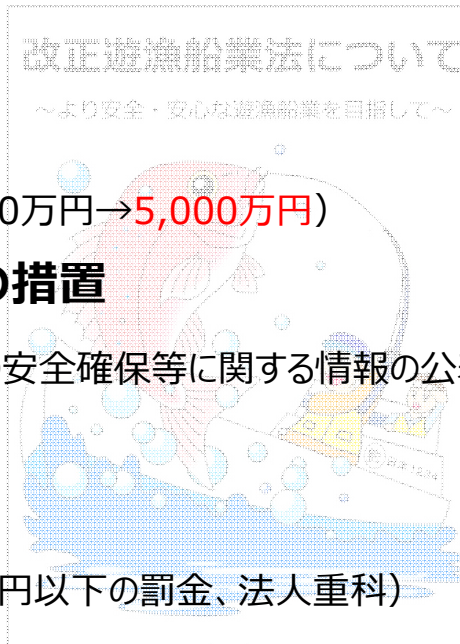
3 利用者の安全等に関する情報の公表等の措置

重大な事故が発生した際の都道府県への報告、利用者の安全確保等に関する情報の公表

4 罰則の強化

業務改善命令違反に対する罰則の引上げ

（100万円以下の罰金→1年以下の拘禁刑又は150万円以下の罰金、法人重科）



◇遊漁船に対する安全設備の義務化 (小型船舶安全規則、船舶救命設備規則)

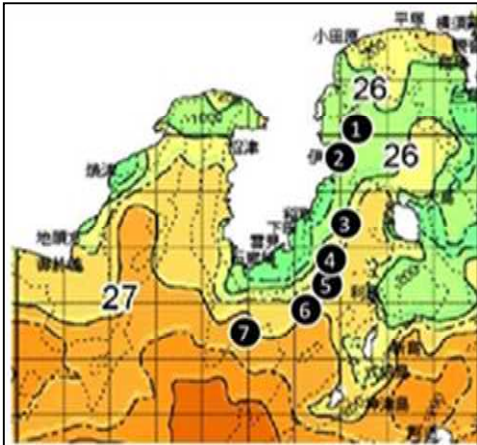
- ・令和4年4月に発生した知床遊覧船事故を踏まえ、安全設備を義務化
- 法定無線設備（R8.10.1以降最初の中間検査または定期検査まで）
陸上施設との確実な連絡手段を確保する。
- 非常用位置等発信装置（R8.10.1以降最初に迎える定期検査まで）
遭難した際、海上保安庁による一刻も早い発見に繋げる。
- 救命いかだ等（R8.10.1以降最初に迎える定期検査まで）
万が一の際に乗客等が低水温の海域で水中待機をすることが極めて危険であることから、水上で救助を待つことができるようにする。
- 隔壁の水密化等（R9.4.1以降最初に迎える定期検査まで）
波の打ち込みや損傷により船内に海水が浸入した際、浸水の拡大による沈没を防ぐ。

the point

- 多くの魚種で水揚げが減少していることから、水産資源の成育環境の調査・分析体制を強化。
- 伊豆東岸ではキンメダイが生息する底層水温調査を、駿河湾ではシラス漁場探索の効率化を図るための調査を実施。

【キンメダイ生息環境解析】

伊豆東岸において、キンメダイ漁場の水温を観測。結果は水産・海洋技術研究所のホームページで公開。



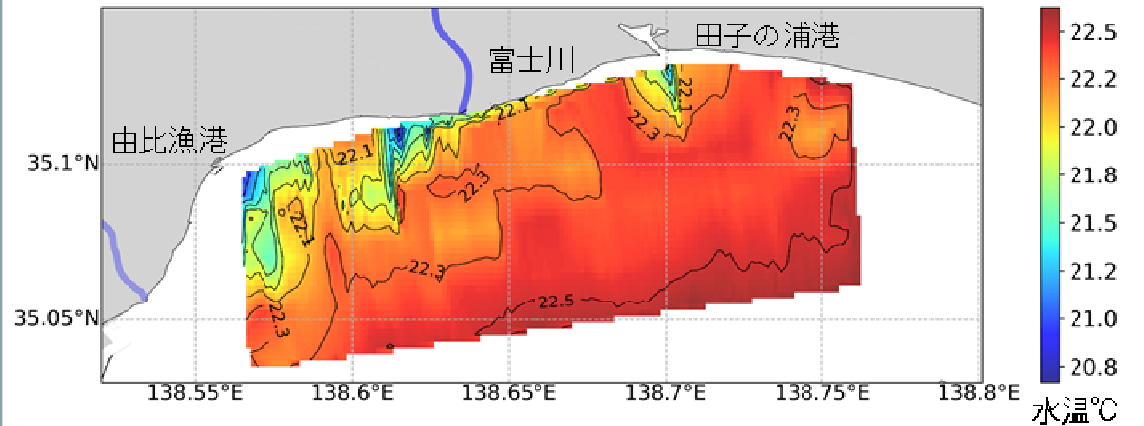
結果例

水深	調査測点						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
0m	18.9	19.6	19.6	20.5	21.5	21.4	21.3
50m	16.8	16.7	17.7	18.6	21.6	21.6	21.2
100m	16.6	16.6	15.8	17.3	18.1	19.2	19.1
150m	15.3	15.4	13.5	16.6	16.4	17.1	16.9
200m	13.3	13.6	12.1	14.5	15.0	16.4	15.5
300m	11.0	10.9	9.9	10.0	10.6	11.4	12.4
400m	8.7	8.2	8.3	8.2	8.3	8.5	8.5

【シラス漁場海況詳細解析】

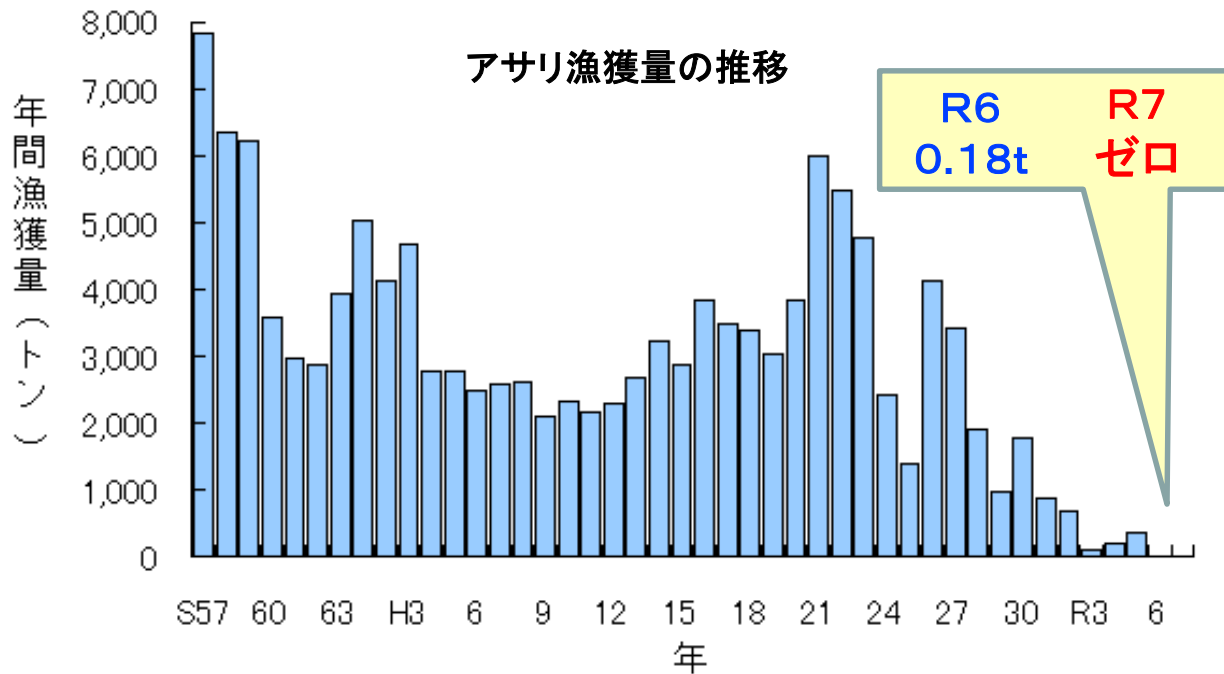
駿河湾において、シラス漁場探索の効率化を図るため、漁場周辺の環境データを測定して解析。結果は水産・海洋技術研究所のホームページで公開。

結果例



the point

- アサリは浜名湖の重要魚種だが、資源状態は過去最低レベル。
- アサリ親貝の成熟・産卵の促進、幼生の着底促進と稚貝育成、食害防除、人工稚貝の活用など、総合的な対策を実施。



アサリの不漁により、浜名漁協の弁天島遊船組合が実施する渡船潮干狩りは、平成28年以降、30年の限定的な実施を除き、中止されている。

1 着底稚貝育成保護事業

・試験的に砕石敷設を行った場所に着底した稚貝をモニタリングするとともに、食害防除手法などを検討する。

2 クロダイ利活用体制構築事業

・買手のつかないクロダイを県が購入し、クロダイによる食害の実態調査などを行う。

3 アサリ種苗育成開発事業

・民間企業が生産したアサリ人工稚貝について、稚貝育成装置を用いた中間育成手法（育成場所や収容密度等）について検討する。
・その後、親貝まで育成し産卵させる。

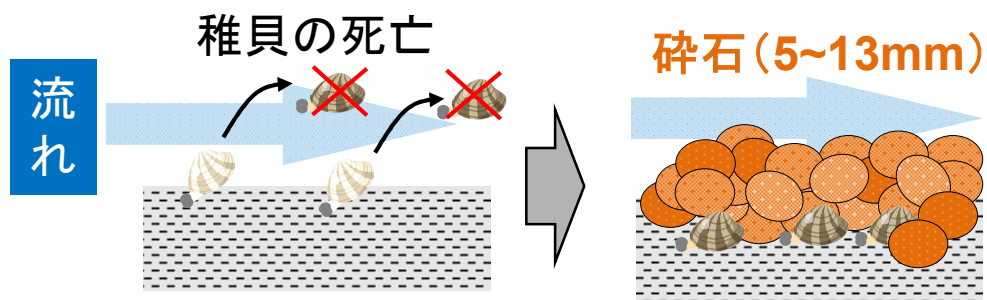


the point

- アサリ資源の回復策として、細かく砕いた砂利を敷き詰めて稚貝の生息場を確保する取組が有効であることを確認
- R 8 度から、国の水産基盤整備事業を活用し、事業規模での漁場造成を実施（補助率 1 / 2）
- 主要産卵場である湖北部と浮遊幼生が着底して成育する湖南部に合計 3 か所（3 ha）造成

1 事業内容

- ・潮の流れからアサリ稚貝を守るために碎石を設置する。
- ・R8度は、詳細な造成場所の決定に必要な測量・実施設計を行う。



2 事業計画

区分	内容
事業量	碎石敷設 1 ha × 3 か所
事業費	3 8 1 百万円
期間	R 8 ~ R 1 4 （7 年間）
関係市	浜松市、湖西市

3 漁場造成の実施場所



湖北部

主要産卵場近辺に造成を行う

湖南部

稚貝の成育場に造成を行う

ウナギ資源回復

the point

- 国は、ウナギ養殖業を許可制とし、国際的枠組の合意に基づくシラスウナギの池入量の制限など、ウナギ資源保護の取組を推進。
- 本県は、シラスウナギや親ウナギの採捕規制、親うなぎ放流事業支援などの独自の取組のほか、シラスウナギの人工生産技術開発やニホンウナギの効果的な放流手法開発の研究を推進。

* 本県の取組

研究

- ニホンウナギの効果的な放流手法の開発
効果的な河川放流手法の開発や、産卵回遊が期待できる親ウナギの養成手法の開発
→成熟して河川を下り産卵に向かう親ウナギの数が増加し、産卵回遊する親ウナギの数が増えることにより、ウナギ資源の増加が期待
- 国等と連携したシラスウナギの人工生産技術の開発
ウナギの育種サイクルの短縮化のための技術開発
→ウナギの種苗生産のサイクルの短縮化により、育種のスピードアップが図られ、ウナギ種苗の大量生産技術の完成につながることを期待

採捕・流通規制

- ・シラスウナギの流通の透明化を図るため新たな採捕・流通規制を導入
- ・シラスウナギの流通の円滑化を図るため供給範囲を拡大
- ・静岡県内水面漁場管理委員会の指示による本県内水面全域における10月1日～2月末日のうなぎの採捕禁止



ふ化直後のウナギ仔魚
[水技研浜名湖分場]

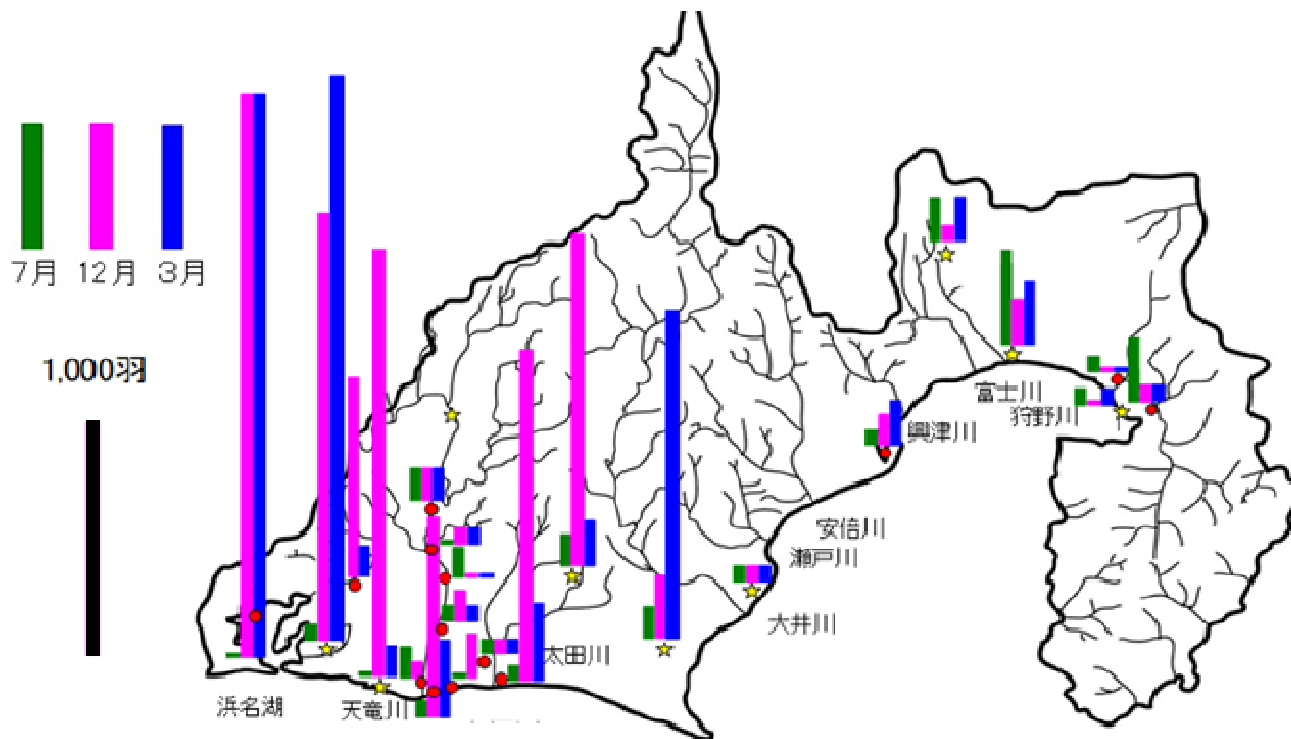


シラスウナギ採捕

the point

- 内水面漁業協同組合等が実施するドローン等を活用したアユのカワウによる被害防除や、銃器駆除等のカワウ対策に係る費用を助成（補助率 1/3 以内）。
- 県内では天竜川漁協、狩野川漁協がカワウの繁殖抑制や分布管理を実行しており、今後、他の漁協への展開を検討。

1 本県における生息状況



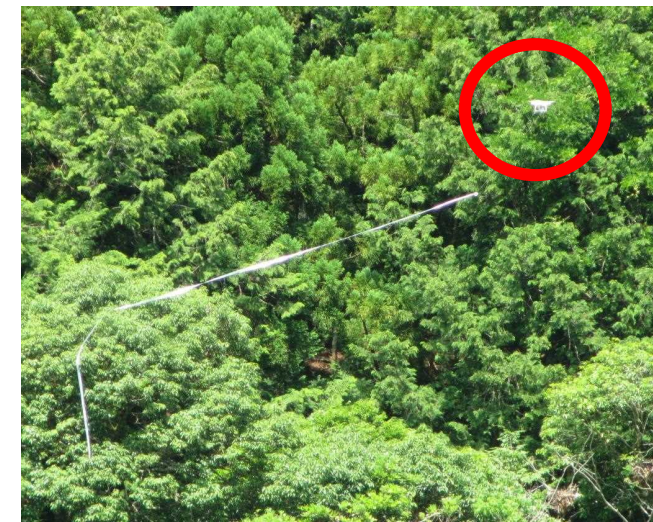
参考：令和6年度静岡県カワウ生息実態調査（自然保護課）

2 銃器駆除と分布管理



銃器駆除

猟友会による銃器駆除



分布管理

ドローンでのひも張りによる追い払い

the point

- 本県のキンメダイ水揚量は減少傾向にあり、特に近年は、イルカ、サメ等による食害が増加し、水揚げの減少がより深刻化している。
- T A C 導入の科学的根拠として行われているキンメダイの資源評価には、食害被害状況が反映されていないため、実態把握が必要。

1 水産資源食害防止対策推進事業

- ・イルカ、サメの食害状況を把握するため、リアルタイムに漁業者から被害状況を集約するスマートフォンアプリを開発した。
- ・昨年度までに、伊東、稲取、下田地区の漁業者を対象に公開を行った。今年度中に、御前崎地区に範囲を拡大する予定。

2 防除対策の普及

- ・防除機器の使用法の工夫や新たな対策方法を情報収集する。



サメ



イルカ

被害を受けたキンメダイ



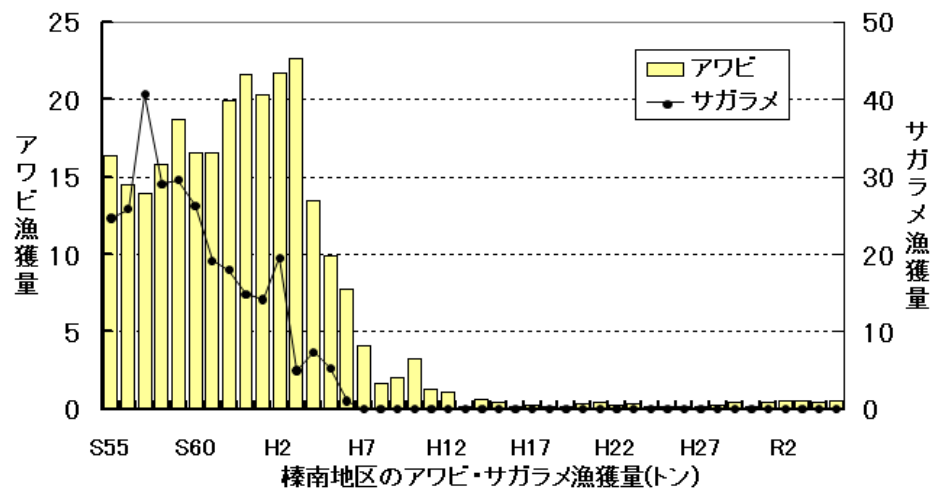
スマートフォンアプリの画面の一例



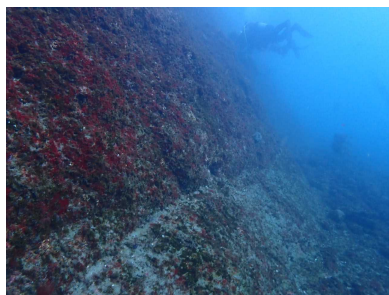
the point

- アワビ等の水産生物を育む藻場の衰退が顕著である。
- 近年、藻類を食害するアイゴやブダイ等の魚類が増加しており、海水温上昇等とともに、藻場の衰退の一因となっている。
- 従来の海藻種苗移植や食害魚の駆除に加え、高水温に強いアントクメの移植を実施することで藻場の回復を図る。

1 磯根資源の状況

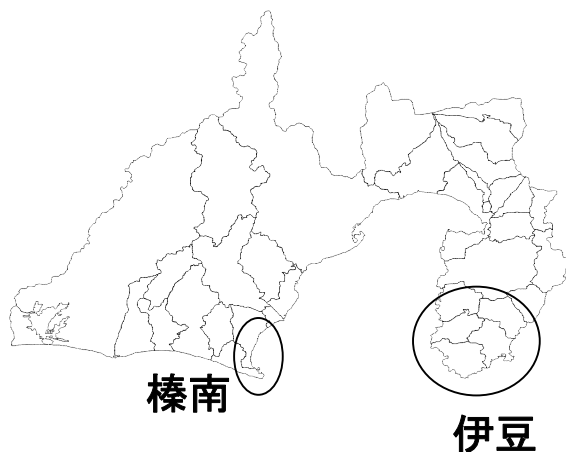


ブダイ



海藻が消失した岩礁

2 事業実施箇所



3 藻場の回復に向けた取組



海藻種苗移植



食害生物の駆除



カジメの代替となる海藻の移植

アントクメ

- ・高水温に強い
- ・アワビ類の餌海藻となる



種苗生産、育成、移植による核藻場造成を目指す

関係漁協

- ・伊豆漁協、南駿河湾漁協

事業内容

- ・水産・海洋技術研究所で養成した海藻種苗を移植する。(榛南・伊豆)
- ・アントクメの種苗移植を実施するとともに、食害魚駆除を実施する。(伊豆)

the point

- 本県沿岸の水産資源の増大を図るため、**温水利用研究センター本所**（御前崎）と同センター**沼津分場（沼津）**において、種苗生産及びその技術開発を実施

1 運営費

運営委託	<ul style="list-style-type: none"> 放流用人工種苗の生産業務等の実施 R8計画 マダイ135万尾、ヒラメ50万尾、アワビ45万個 等
原発停止対応	<ul style="list-style-type: none"> 温水利用研究センターへ送水するための施設の維持、管理 ボイラー使用による温水の確保

2 マダイ及びヒラメの種苗生産実績

年度	生産目標	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
マダイ（千尾）	1,350	1,677	1,738	1,424	1,406	1,379
ヒラメ（千尾）	500	584	556	557	549	532

3 温水利用研究センター沼津分場再整備計画

令和7年度	管理作業棟、餌料培養棟、電気機械棟
令和8年度	貝類飼育棟
令和9年度	魚類飼育棟

R7.11月時点
電気機械棟建設中



完成予想図



the point

- 近年、遊漁者による密漁の摘発件数が増加していることから、漁業協同組合が遊漁者に向けた普及啓発のために行う密漁防止の看板やのぼりの設置、パンフレットの配布のほか監視活動に用いるカメラの設置などの経費に対して助成する。

(補助率 1 / 2、「浜の活力再生プラン」策定が補助の条件)

【事業の実施状況】

	実施主体	実施内容	事業費 (千円)	財源内訳(千円)		
				国	県	漁協
令和8年度	焼津漁業協同組合	看板作成	200	100	—	100
令和6年度	浜名漁業協同組合	看板作成	242	120	—	132
	いとう漁業協同組合		523	250	—	273
	伊豆漁業協同組合		670	335	—	335

* 令和7年度は実施なし。

【密漁防止啓発用の看板】



相談窓口：資源管理班 (054-221-2738)

(3) 漁港整備課關係

港灣局漁港整備課
(054-221-2611)

令和8年度 主な漁港漁場関係事業（概要1）

事業名	内容	R8 箇所	工事費 (百万円)
水産流通 基盤整備 事業	目的:水産物の流通拠点の整備 内容:高度衛生型荷捌き所、岸壁、防波堤などの整備	・工事:焼津、舞阪 ・設計:舞阪	1,106
水産生産 基盤整備 事業	目的:水産物の生産拠点の整備 内容:漁場、藻場等と漁港施設の一体的な整備	・工事:福田	115
水産物供給 基盤保全 事業	目的:漁港施設の更新(長寿命化) 内容:機能保全計画の作成、計画に基づく保全工事	・工事:戸田、福田、 舞阪、吉田ほか	719
漁港施設 機能強化 事業	目的:①高潮・波浪対策、②地震・津波対策 内容:外郭施設等の機能診断、診断結果による工事	・工事:由比、用宗、 初島 ・設計:妻良	418
漁村整備 事業	目的:漁村インフラ(漁業集落環境施設、漁港環境 整備施設等)の強靱化等の推進 内容:漁業集落排水施設、漁港環境整備施設の整備	・工事:初島	62

※工事費は国内示ベース、10万円単位を四捨五入

令和8年度 主な漁港漁場関係事業（概要2）

事業名	内容	R8 箇所	工事費 (百万円)
漁港機能増進事業	目的: 既存施設を最大限活用したストック効果の最大化 : による漁港機能の増進 内容: 就労環境の改善、安全対策向上・強靱化	—	—
地方創生推進金 地港整備交付金	目的: ①就業機会の創出、②経済基盤の強化 内容: ①省力化・軽労化(屋根、防風防暑施設など) : ②有効活用促進施設(増養殖施設、用地舗装) : ③安全対策向上施設(津波バリア施設など)	・工事: 稲取、戸田、 富戸、 村櫛、鷺津	434
農山漁村地域整備交付金 (漁村再生交付金)	目的: 既存ストックの有効活用等を通じ個性的で豊かな漁村を再生するため漁港施設や集落環境施設等の効率的な整備を推進 内容: 漁村再生計画に基づく、漁港施設等の整備	—	—

※工事費は国内示ベース、10万円単位を四捨五入

令和8年度	計	2,854百万円(対前年比 1.31)
(参考) 令和7年度	計	2,176百万円

令和8年度 主な漁港漁場関係事業（概要3）

事業名	内容	R8 箇所	工事費 (百万円)
海岸高潮 対策事業	目的: 国民経済上、民生安定上重要な地域を、高潮、津波、波浪等による被害から守る 内容: 海岸保全施設の新設・改良	・工事: 焼津 ・設計: 焼津	510
海岸メンテナ ンス事業	目的: 予防保全型のインフラメンテナンスへの転換に向けた海岸保全施設の老朽化対策等 内容: 海岸保全施設の長寿命化計画の策定・変更、老朽化対策等	・工事: 網代、用宗、北川	123
農山漁村 地域整備 交付金 (海岸保全施設 整備事業)	目的: 高潮対策、侵食対策、海岸耐震対策 内容: 海岸保全施設の新設・改良、堤防・護岸の対策、津波・高潮に関する危機管理対策等	・工事: 焼津、戸田、静浦、稲取、田牛、地頭方、用宗	586

※工事費は国内示ベース、10万円単位を四捨五入

令和8年度	計	1,219百万円(対前年比 1.04)
(参考) 令和7年度	計	1,173百万円

(4) 水産・海洋技術研究所関係

本所

(資源海洋科)	054-627-1817
(開発加工科、深層水科)	054-627-1818
(普及総括班)	054-627-1816

伊豆分場 0558-22-0835

浜名湖分場 053-592-0139

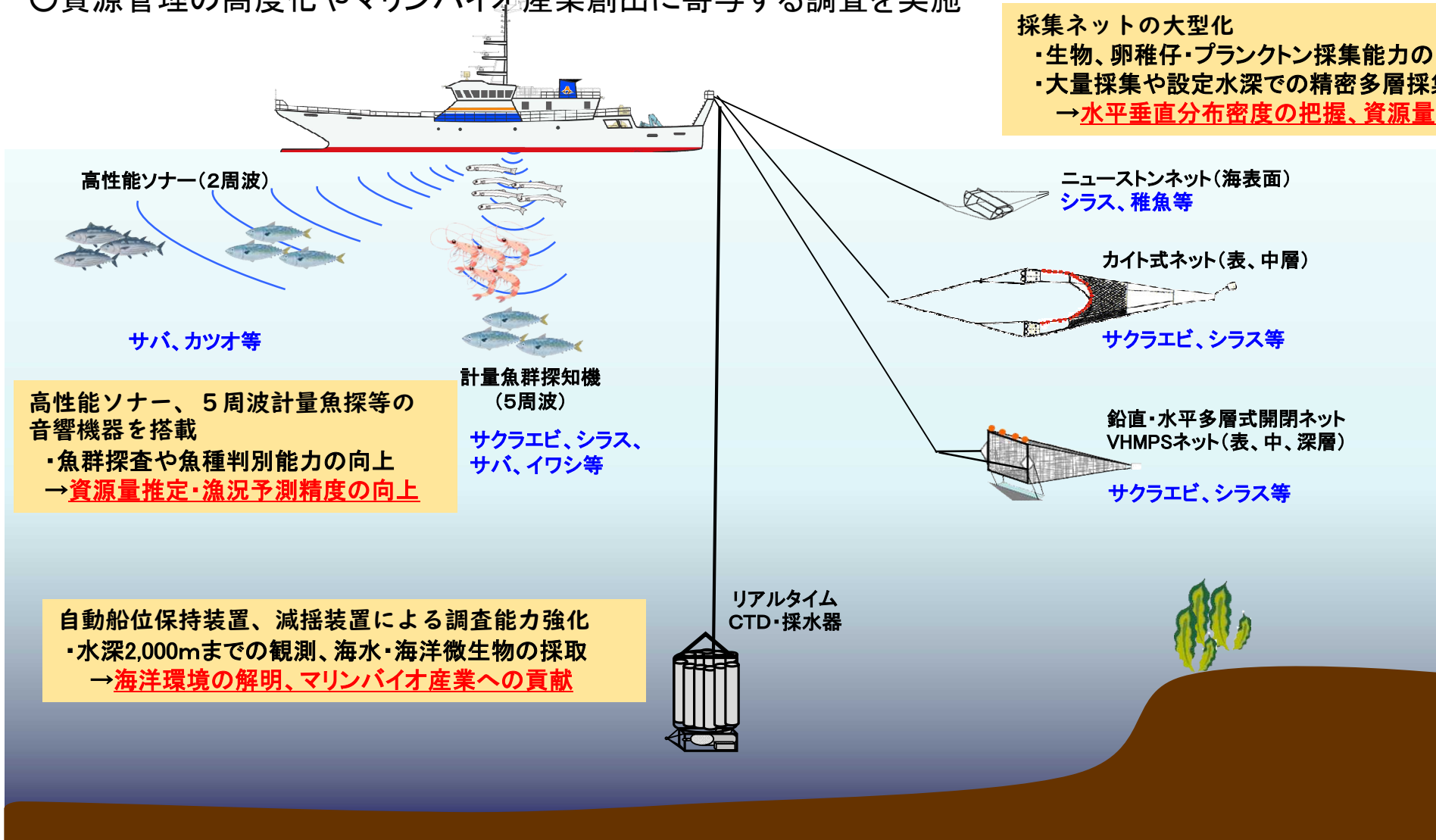
富士養鱒場 0544-52-0311

沿岸・沖合漁業指導調査船「駿河丸」による研究推進



【音響調査機能や採集能力等の向上】

- 計量魚群探知機により駿河湾内を広範囲に調査し、サクラエビ資源量を精度高く推定する技術を開発
- イワシの卵や稚魚の大量・定量採集により来遊量を把握するとともに、海洋環境(水温、流れ等)から1か月先の漁獲量予測を検討
- 資源管理の高度化やマリンバイオ産業創出に寄与する調査を実施



採集ネットの大型化
 ・生物、卵稚仔・プランクトン採集能力の向上
 ・大量採集や設定水深での精密多層採集
 →水平垂直分布密度の把握、資源量推定、漁況予測精度の向上

計量魚探によるサクラエビ資源調査

水深200mよりネット採集したサクラエビ

水産・海洋技術研究所の研究・普及課題（R8）

研究 普及	所属	課題数	重要研究課題
研究	資源海洋科	13	計量魚探によるサクラエビの資源量推定技術の開発
	開発加工科	4	海外まき網漁業で漁獲されるカツオ原魚を用いた加工品の高付加価値化
	深層水科	6	浜名湖の漁業再建と輸出産業創出に向けたノコギリガザミの種苗生産及び養殖技術の開発
	伊豆分場	6	キンメダイの資源回復に向けた種苗生産技術の開発
	浜名湖分場	7	浜名湖のアサリ資源を増やすための取組
	富士養鱒場	4	海面養殖用の優れたニジマス系統の作出
普及	普及指導員室	10	<ul style="list-style-type: none"> ・磯焼け対策を支援 ・海業の取組を各地に広げるための支援 ・高成長系統ニジマス種苗の導入を支援 ・漁業者によるアサリ垂下養殖を支援
合 計		研究40課題、 普及10課題	

海の温暖化に伴う出現魚種の変化とその活用に関する研究

海の温暖化により海水温が上昇・漁獲状況が変化

南方系魚種の利活用により本県水産業の生き残り・活性化を図る！

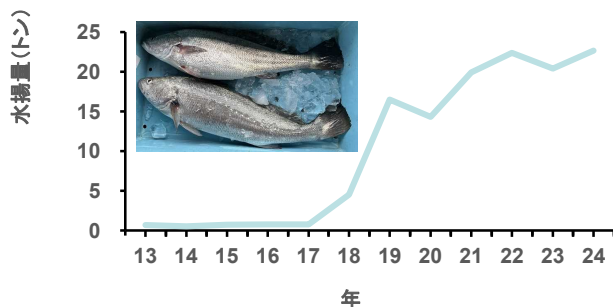
小課題 1

海の温暖化に伴う未利用・低利用魚の探索

- ・ 県内市場の水揚げ統計等の整理
- ・ 市場調査の実施



市場調査



二ベ類水揚量の推移

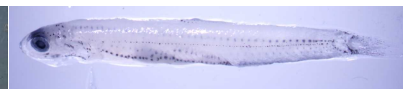
漁獲量が増加しているが市場価値が低い南方系魚種を探索

小課題 2

未利用・低利用魚の生物特性、品質特性の把握



カタボシイワシ



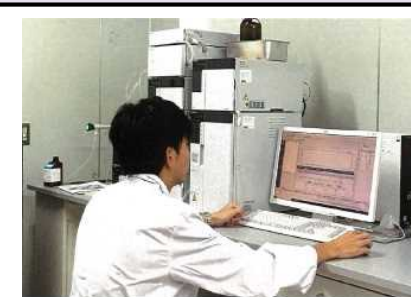
台湾アイノコイワシ(シラス)



テンジクタチ

漁獲実態調査

成分・味・加工特性評価



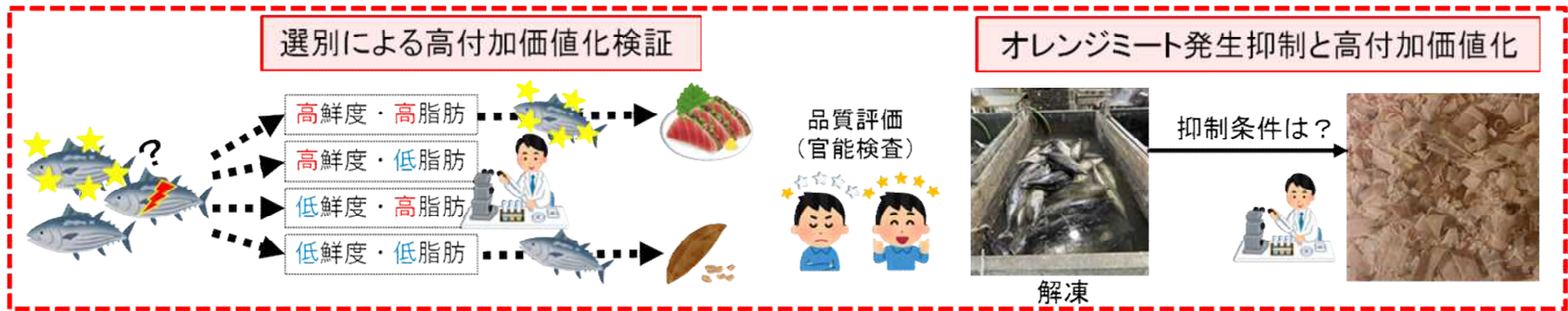
市場価値が低いまたは加工特性が不明な3魚種の利活用方法を開発

海外まき網漁業で漁獲されるカツオ原魚を用いた加工品の高付加価値化

現在

分類	鮮度	用途	動向	課題
B	高鮮度～ 低鮮度	鰹節・缶詰 佃煮	品質ばらつき 生産割合減少・鰹節原魚不足	選別による高付加価値化検証
PS	高鮮度	生食	生産割合増加	オレンジミート発生

研究



将来

分類	鮮度	用途
B	高鮮度 低鮮度	生食 鰹節・缶詰・佃煮
PS	高鮮度	生食・ブランド鰹節

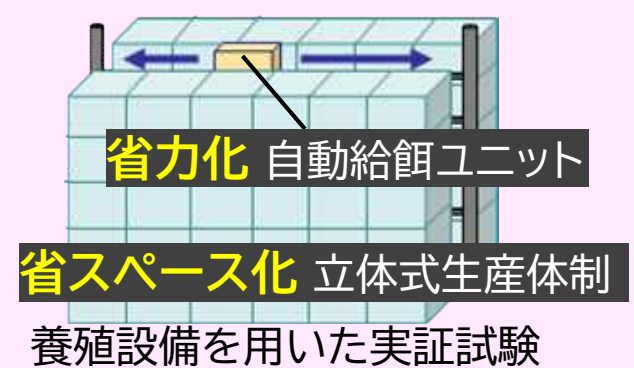
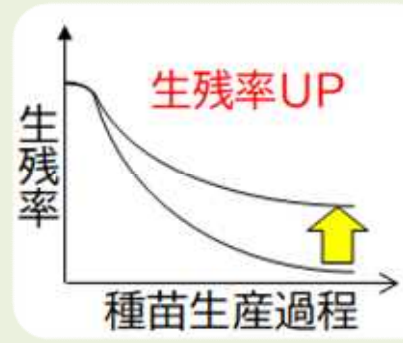
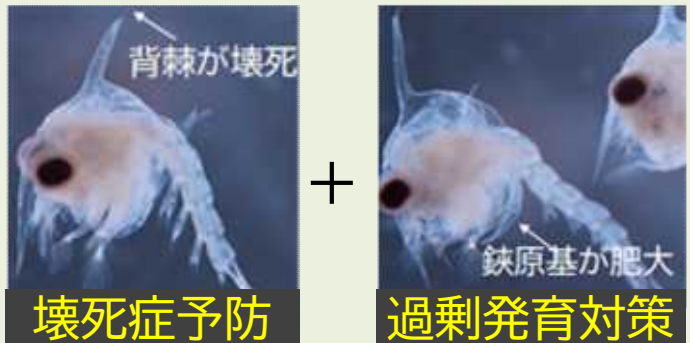
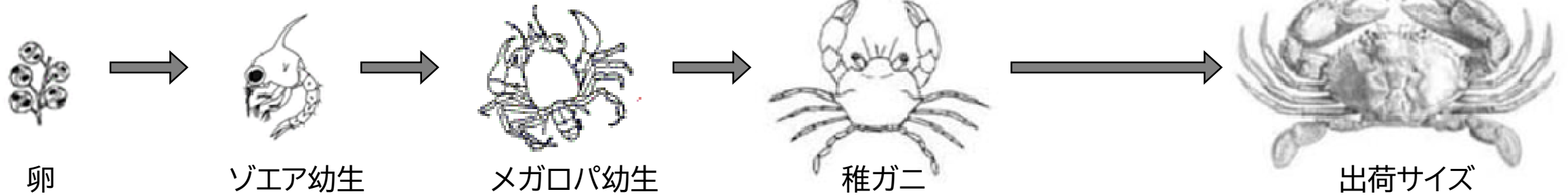
特長のある製品づくりが可能に



浜名湖の漁業再建と輸出産業創出に向けた ノコギリガザミの種苗生産及び養殖技術の開発

壊死症や過剰発育等による大量斃死
が常態的に発生し生産が不安定

個別飼育が必要となるため、
省力化、省スペース化が課題



種苗の量産技術の確立
(安定的な放流・養殖用の種苗供給体制の確立)

ノコギリガザミ養殖技術の確立

キンメダイの資源回復に向けた種苗生産技術の開発

【目的】 栽培漁業に向けた種苗生産の実現

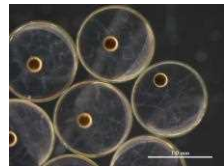
【課題】 天然魚の生態解明、捕獲親魚や長期養成親魚を用いた種苗生産

人工採卵・授精



親魚養成→成熟・採卵

種苗生産



受精卵



日齢6



初期餌料



日齢33

安定・量産技術



放流種苗



資源回復



ホルモン投与

【主な成果】

- ・捕獲親魚の活魚輸送、精子の冷蔵保存の技術を確立
- ・受精～ふ化～仔魚飼育における適水温を把握
- ・天然親魚から人工ふ化に成功
 - ふ化後33日間の生存を確認（大学と共同研究）
- ・親魚へのホルモン投与で雌の卵巣発達と雄の排精促進を確認

浜名湖のアサリ資源を増やすための取組

浜名湖のアサリ資源増加に向けた実証実験と増殖手法の開発(R7~9)

目的：再生産の好転

新成長戦略研究

(R3~5)

アサリ資源の減少原因

秋の産卵期の高水温化

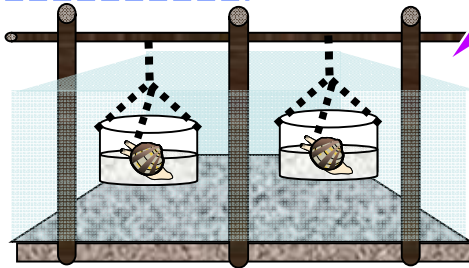
餌(植物プランクトン)の減少

浮遊幼生数の減少

クロダイの食害

阻害要因：水温,食害,餌不足

垂下飼育



産卵に適した時期

産卵数の増加



阻害要因：流出

輸送モデル

産卵場所の検

浮遊幼生

遺伝子解析

親子関係の検

親貝

普及対応
被覆網

移植

普及対応
食害対策

生残数の増加

親貝

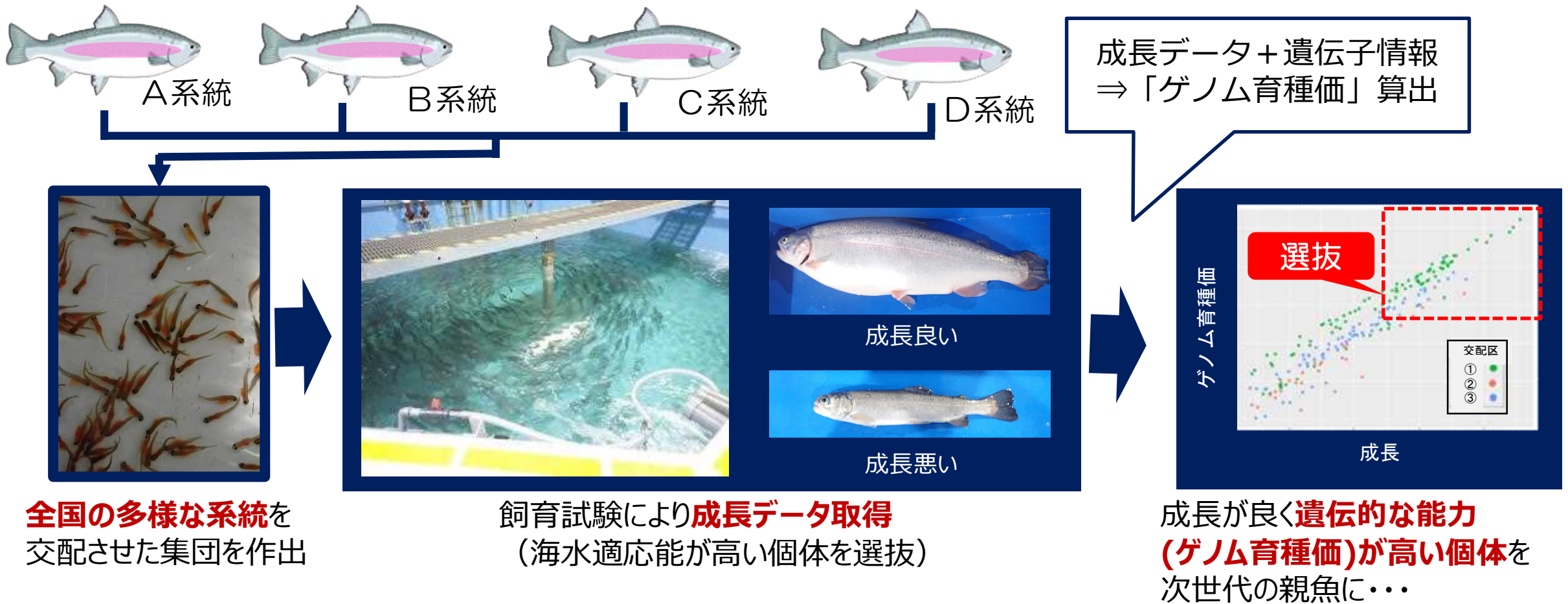
稚貝

着底稚貝

阻害要因：食害

海面養殖用の優れたニジマス系統の作出

国産サーモン(大型ニジマス)の供給増に向けて



【期待される成果】 海水高成長の形質を保有する系統の作出

➡ 本県養鱒業の収入増加 + 消費者に国産サーモンを提供

4つの普及指導員室で、最重点課題として10課題を実施中

東部普及指導員室(伊豆分場) (磯焼け対策を支援)



食害生物(ブダイ等)の採捕と新たな利活用方法の検討

食害対策を中心に磯焼け対策活動を支援
食害生物の活用法を開発し漁業者の収入をUP

中部普及指導員室(本所普及総括班) (海業の取組を県下各地に広げるための支援)



イベントで賑わう漁港



海業作戦会議

情報の収集・発信、作戦会議の設置を通じた取組支援
漁村の賑わいを創出し、漁協や漁業者等の収集をUP

中部普及指導員室富士宮(富士養鱒場) (高成長系統ニジマス種苗の導入を支援)



高成長系統ニジマス



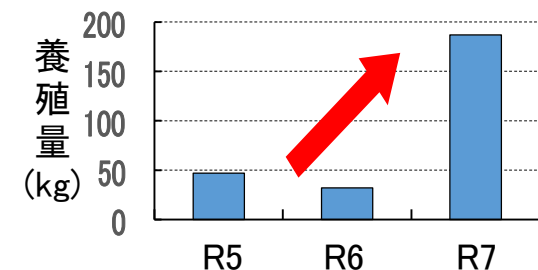
生産されるニジマス種苗

高成長系統種苗の増産体制の構築
生産量を増大して養殖収入をUP

西部普及指導員室(浜名湖分場) (漁業者によるアサリ垂下養殖を支援)



垂下養殖の様子



「垂下養殖」の技術向上・規模拡大を支援
養殖アサリの生産・流通体制を構築して漁業収入をUP

3 参考データ

○主要指標 ※ 生産額は、海面漁業と海面養殖業の合計

項目		静岡	全国	シェア
経営体数 (R5)	全体	1,714	65,662	2.6%
	専業	707	33,921	2.1%
	兼業	920	27,467	3.3%
	その他	87	4,274	2.0%
漁業就業者(人) (R5)	全体	3,753	121,389	3.1%
	自営漁業	1,584	68,460	2.3%
	雇われ漁業	2,035	44,873	4.5%
	漁業従事役員	134	8,056	1.7%
生産量(トン) (R6速報値)	海面漁業・養殖業	164,600	3,588,300	4.6%
	内水面漁業・養殖業	3,165	46,501	6.8%
生産額(百万円)(R5※)		54,018	1,524,014	3.54%
水産加工品生産量(トン)(R5)		119,473	1,240,678	9.6%

○主要魚種生産量(R6,速報値)

	静岡(トン)	全国(トン)	順位	シェア
海面漁業全体	167,765	3,634,801	5	4.6%
カツオ	81,900	258,000	1	27.5%
マイワシ	43,800	666,700	4	6.5%
サバ類	8,600	256,000	9	4.3%
キハダ	10,100	46,700	1	21.6%
ビンナガ	1,700	26,600	5	6.3%
シラス	2,300	36,900	5	6.2%
メバチ	3,300	29,000	3	11.3%
ミナミマグロ	1,300	6,500	2	20.0%
サクラエビ	529	-	1	100%

○漁業生産量

	(トン)				
	R2	R3	R4	R5	R6
総生産量	188,999	254,246	153,038	133,015	167,765
海面漁業	184,055	249,515	147,231	126,900	162,000
海面養殖業	2,445	2,256	2,386	2,600	2,400
内水面漁業	非公表	非公表	1	1	0
内水面養殖業	2,499	2,575	3,420	3,514	3,165

○漁業生産額

	(百万円)				
	R元	R2	R3	R4	R5
総生産額	49,113	45,860	50,723	43,896	54,018
海面漁業	46,431	41,183	48,463	41,243	51,064
海面養殖業	2,682	4,677	2,261	2,653	2,954

○主要魚種生産額(R5確報)

	静岡 (百万円)	全国 (百万円)	順位	シェア
海面漁業全体	51,064	951,040	4	5.4%
カツオ	17,202	66,142	1	26.0%
キハダ	6,700	39,031	1	17.2%
シラス	4,603	42,023	3	11.0%
サバ類	1,992	36,063	6	5.5%
メバチ	3,242	32,678	4	9.9%
ミナミマグロ	2,665	13,637	3	19.5%
クロマグロ	2,010	39,614	6	5.1%
マイワシ	2,035	49,394	9	4.1%
サクラエビ	2,105	-	-	100%

○主要養殖魚種生産量 (R6,速報値)

	静岡(トン)	全国(トン)	順位	シェア
ウナギ	1,791	16,159	4	11.1%
マダイ	1,200	68,400	7	1.8%
ニジマス	1,253	5,180	1	24.2%
マアジ	200	500	1	40.0%
カキ類(殻付き)	200	149,100	14	0.0%

○主要養殖魚種生産額 (R5,確報値)

	静岡(百万円)	全国(百万円)	順位	シェア
マダイ	1,214	72,410	9	0.0%
マアジ	474	731	1	64.8%
カキ類	788	40,893	9	1.9%
ブリ類	171	139,849	12	0.3%

○地域別・年齢別新規就業者数 (R5)

	(人)					
	伊豆	東部	中部	西部	不明	計
19以下	1	0	10	0	0	11
29以下	2	2	21	2	0	27
39以下	0	0	10	2	0	12
49以下	0	0	4	2	0	6
59以下	0	0	3	0	0	3
60以上	0	0	4	2	0	6
不明	0	0	0	0	0	0
計	3	2	52	8	0	65

○主要漁港水揚げ (R6)

	水揚量(トン)	水揚額(百万円)	主な魚種
漁港全体	133,757	48,467	
焼津漁港	124,507	41,935	カツオ、その他マグロ類
宇佐美漁港	2,202	191	イワシ類、ウルメイワシ
網代漁港	1,432	208	イワシ類、カマス
舞阪漁港	1,308	1,505	シラス、ブリ類
北川漁港	943	149	サバ類、マイワシ
由比漁港	800	1,712	エビ類、マアジ
吉田漁港	480	616	シラス
用宗漁港	355	443	シラス
福田漁港	355	395	シラス

○水産加工品生産量 (R6)

	静岡(トン)	全国(トン)	順位	シェア
加工品生産全体	97,759	963,046	3	10.2%
ねり製品	10,394	408,262	12	2.6%
冷凍食品	24,055	251,715	2	9.6%
乾製品	6,621	99,777	8	6.6%
くん製品	0	3,515	-	0.0%
塩蔵品	0	130,574	-	0.0%
節製品	11,967	68,638	2	17.5%
水産缶詰	29,183	66,562	1	43.8%
その他	8,918	284,281	7	3.6%

参考データ出典一覧

○主要指標

経営体数、漁業就業者：「漁業センサス2023」農林水産省

生産量（R6,速報値）：「漁業・養殖業生産統計」農林水産省

生産額（R5,確報値）：「漁業・養殖業生産統計」農林水産省

水産加工品生産量：「漁業センサス2023」農林水産省

「缶詰時報」（公社）日本缶詰びん詰レトルト食品協会

○主要魚種生産量（R6,速報値）：「漁業・養殖業生産統計」農林水産省

○漁業生産量：「漁業・養殖業生産統計」農林水産省

○漁業生産額：「漁業・養殖業生産統計」農林水産省

○主要魚種生産額（R5,確報値）：「漁業・養殖業生産統計」農林水産省

○主要養殖魚種生産量（R6,速報値）：「漁業・養殖業生産統計」農林水産省

○主要養殖魚種生産額（R6,確報値）：「漁業・養殖業生産統計」農林水産省

○地域別・年齢別新規就業者数（R6）：県水産振興課調べ

○主要漁港水揚げ（R6速報値）：県港湾企画課調べ（「漁港の港勢調査」水産庁）

○水産加工品生産量：「水産加工品統計」農林水産省